

「ナイン」の構造

目的

「ナイン」のディリケンチック性はどうあるのか理解する。

目標

「ナイン」のストーリーの構造を次の文章をもととして、みんなが自分の言葉で説明できること。

次の課題Aと課題Bをノートに記す。(ノートページの右上に「A」または「B」と明記する。)

課題A

次のフォーマットをもとで「羅生門の構造」に関する論文をノートに書く。

こいつのよつにノートの枠外に日付・年組番名前を記す。

()～に当てはまる表現を記入する。

『』の中はどちらかを選んで記入する。

「ナイン」は「変化したもの」と「変化しないもの」はたくさん出ているが、この物語の中心となっている最も変化したものの代表は()であり、全く変化しないものの代表は()である。そして最終的には「わたし」が『変化したもの』／「変化しないもの』の重要性に気づく。

()について説明する。()は()から()と
というよつに変化し、その変化を周りの人々は()
うことりえているかを説明する)と、とりえてこる。

()について説明する。()は()が変化しても、
変わらず()は()を()のよつに考へてこ
とらえてこる。その理由は()
と今に通じてこる事例を示し、「変化しな
い」理由を述べる)である。

「わたし」はそのことを英夫との会話の中の、 頁 行田「()」
文を抜き出す()で知りじになつた。

1

課題B

209頁2行目「この十何年かのうち、()には西田がさわなくなつてしまつたようである。」とこいつの物語の終わりの文がある。この「西田」は、この物語において、どう

いふことを表しているか?自分の言葉で周りを納得させるよつに説明しなさい。

(形式自由)

ヒント……「西田」がさわなくなつたどうなるか?